

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月12日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|----------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 0173700287 | | |
| 法人名 | 有限会社グループホームコスモス | | |
| 事業所名 | グループホーム コスモス | | |
| 所在地 | 伊達市長和町609番地 (電話) 0142-25-3311 | | |
| 評価機関名 | (有) ふるさとネットサービス | | |
| 所在地 | 札幌市中央区北1条西5丁目3番地 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年2月8日 | 評価確定日 | 平成20年2月27日 |

【情報提供票より】 (平成20年1月25日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|---------------|-----------------------|------|
| 開設年月日 | 昭和(平成)15年9月7日 | | |
| ユニット数 | 2 ユニット | 利用定員数計 | 18 人 |
| 職員数 | 15 人 | 常勤15人, 非常勤0人, 常勤換算13人 | |

(2) 建物概要

| | | |
|------|--------|---------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | |
| | 2 階建ての | 1.2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|-----------------|----------|------------|----------|
| 家賃(平均月額) | 45,000 円 | その他の経費(月額) | 15,000 円 |
| 敷金 | 有(円) 無 | | |
| 保証金の有無(入居一時金含む) | 有(円) 無 | 有りの場合償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | | 1,200 円 |

(4) 利用者の概要(2月8日現在)

| | | | | | |
|-------|--------|------|-----|----|------|
| 利用者人数 | 16 名 | 男性 | 4 名 | 女性 | 12 名 |
| 要介護1 | 0 | 要介護2 | 4名 | | |
| 要介護3 | 4名 | 要介護4 | 4名 | | |
| 要介護5 | 4名 | 要支援2 | 0 | | |
| 年齢 | 平均 85歳 | 最低 | 70歳 | 最高 | 96歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------|
| 協力医療機関名 | ミネルバ病院、小熊内科医院、中村歯科 |
|---------|--------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム長を始めとするスタッフの全員が、それぞれの人生経験が豊かで、利用者に対するケアサービスの徹底を図りつつ、自らのスキルアップに熱意が感じられます。健康への支援も、毎日欠かさず行なわれる口腔内ケア、運動療法や、大きな声で歌う音楽療法など、スタッフのアイデアも取り入れながら果敢に行なわれています。ホームの中央にあるパブリックホールは、利用者の憩いや交流の場だけではなく、多機能性に富んだ利用が可能となっており、今後、地域と一体となったホーム運営にも効果的な利用の実現が期待されます。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での主な改善課題となった利用者の権利明示及び家族の方々の苦情窓口紹介で第三者の苦情相談窓口紹介への記載漏れが指摘されましたが、即座に改善されており、評価への取り組みの素早さが認められました。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各ユニットごとで自己評価がされ、内容も飾りのない率直な評価を読むことができました。スタッフも現状に満足せず、常に上を目指してのスキルアップの意欲が自己評価に現れています。今回の自己評価並びに外部評価で示された項目への果敢な取り組みを期待します。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>会議の定期的な、かつ計画的な開催が望まれます。また、会議のメンバーも地域に開かれたホーム運営に資するため、自治会の役員、民生委員、地域の女性部の皆さん、学校の先生、消防署員、時には警察の方々など幅広い方々の招聘が望まれます。会議の内容もホームの現況報告は勿論、評価項目の公表と取り組みの状況など、また、緊急時の避難を想定した問題提示など地域に密着した内容の盛り込みと検討を期待します。</p> |
| | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族からの意見、要望、苦情などはあまり寄せられていませんが、家族からの生の声を聞く機会の創設、また、具体的な事案を提示しながら家族に答えて頂くなど、色々な工夫が必要であり、現在検討されている実現への取り組みに期待します。</p> |
| 重点項目③ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>市街地から離れた住宅が少ない環境下にあります。グループホームへの理解も深まってきております。利用者の一人ひとりが地域のなかで穏やかに暮らすため、更なる理解と協力支援が求められますが、ホームの有する機能を地域に提供しつつ、ホームが地域になくてはならない存在感が増すよう積極的な取り組みを期待します。</p> |

2. 評価結果（詳細）

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域のなかで利用者が穏やかに暮らし続けられるよう、開所した当初から企業理念としての取り組みが行なわれています。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | スタッフは、毎朝行なわれるミーティングにおいても、常に自らの行動を反省しながら、利用者にとって「穏やかに、明るく、楽しい当たり前の暮らしの営み」を念頭に、サービスの質の向上を目標としています。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域でのお祭りを見学する、また近くの小学校児童との交流など、ホームが地域と一体となったお付き合いが増えつつありますが、自治会に加入しての地域ぐるみの交流には至っておりません。 | ○ | 利用者が地域の一員として共に暮らし続けるため、地域住民の理解を得て、地域で必要とされる活動や役割を担ってゆく取り組みを期待します。運営推進会議での広範囲な理解も地域との付き合いをさらに深くなると思慮します。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 昨年度の外部評価からの改善項目について、利用者の権利及び苦情などの第三者窓口の記載に関して早々に改善されています。また今回の自己評価に関しても、各ユニットごとに現状を反省しながら的確な評価を行なうなど、評価の意義と理解はホーム全体に浸透しています。 | | |

伊達市 グループホーム コスモス

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|--|----------------------|---|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | これまでに3回の会議が行なわれ、ホームの状況や行事の紹介など、また、認知症に関する知識を伝えるなどの努力は認められます。出席メンバーの固定化や会議の内容、展開については計画性に欠けるところがあります。 | ○ | ホームの取り組み状況の報告は必要ですが、沢山の方に理解を求めるため、自治会の役員の方々、特に女性部の参加が望まれます。また、学校の先生、民生委員、時には警察、消防の方々を加えるなど、幅の広い会議の持ち方、また、自己評価や外部評価への取り組みを紹介して、モニター役となってもらうなど、計画的な取り組みが期待されます。 |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市の担当者とは、介護保険の事務的な係わりが主となっていますが、ホーム訪問や地域にあつてのサービスの質の向上などの共同作業には至っていません。 | ○ | 市の担当者には、ホームの現況を知って頂きながら、サービスの質の向上を図る協働歩調を行なうため、ホームの広報や行事の案内と招致を行なう、また、キャラバンメイトとしての参加など、地域に密着したホームサービスのレベルアップへの取り組みを期待します。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 利用者の身体的な異常に関しては、電話による報告がされています。また、金銭管理の報告は毎月行なわれ、コピーの下段には利用者の様子などをホーム長の手書きにより家族へ知らせるなど気配りが行われています。毎月1回の「コスモスだより」も利用者の表情が見られるなど、家族から好評を得ています。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族の訪問時を利用して、ホーム運営やサービスに関しての意見、要望、また苦情を聞くように努力しています。これからはさらに工夫を重ねて意見、要望をホーム運営に役立てようとスタッフ間で取り組みが行なわれています。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | ホームでは、特定の利用者担当を決めてなく、すべてのスタッフが目配り、気配りを行なって利用者の暮らしを支えています。スタッフの異動などは少ない現況ですが、利用者にとってのダメージがないサービスを心掛けています。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|---|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | ホーム内では毎月のカンファレンス時を利用して、勉強会を開催してスタッフ相互の質の向上に努めています。また、道央で開催の外部研修会にも可能な限り出席してスキルアップを図っています。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホームの広域連合会で行なう勉強会に参加していますが、ほかのグループホーム同業者との情報交換は少なく、また、スタッフ同士のネットワーク作りも不十分です。 | ○ | 各グループホームはそれぞれ特色を持って地域との密着を試みています。ですから同業者間の交流は学ぶべきところが多く、管理者ばかりでなくスタッフにも参加させて、交流が求められます。また、ホーム間の相互訪問を通じてのサービスの見直しなど、効果は計り知れなくスタッフのスキルアップにも期待ができるため、その取り組みに期待します。 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | ホームへの入居前に、家族が同居しているケースが少なく、生活歴などの把握に苦慮する場合がありますが、スタッフは利用者が馴染んで安心して暮らさできるように「ゆっくり、楽しく、一緒に・・・」をモットーとして支援に努めています。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者ができる作業にはスタッフも一緒に加わるなど、利用者との会話を大切にしながら、ともに過ごしあう関係を大切にしています。 | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|----------|---|---|--------------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用者のその日の体調をできるだけ素早く把握するため、会話の工夫などしています。また、利用者の思いを尊重しながら、急がずゆっくりと時間を掛けて思いや意向の把握に努めています。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 「行動と介護記録シート」はスタッフ間で定着しており、詳細なアセスメントが記録され「できること、できないこと」への検討を十分行ないながら介護計画の原案が作られています。家族への説明は原案をもとに行なわれて意見などを盛り込むこととしています。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画の見直しは、3ヵ月の短期見直し、6ヵ月の長期見直しで行なわれていますが、毎朝の申し送りなどに見られる体調の変化によっては、その都度、状況に合わせた見直しが適時に行なわれています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 家族や本人の依頼を受けて、病院への送迎や買物、美容院への送迎を行なっています。また、広いパブリックホールを利用した講習会なども企画され、多機能性を生かした柔軟な利用と支援が計画されています。 | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----------|---|---|--------------------------|--|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月1回の訪問診療が定期的に行なわれています。掛り付け医の指示のもとホームの看護師により適切な医療支援が継続されています。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | ホームでは、インホームド・コンセント様式で利用者や家族からのヒヤリングを行ないながら、重度化や終末期への対応が記載されていますが、家族を含めた掛り付け医との話し合いなど方針の共有では十分とはいえません。 | ○ | ホームとして本人の気持ちを大切にしつつ「できること、できないこと」を見極めながら家族、掛り付け医とも綿密な連携体制への方針作りが急がれます。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉掛けをしないよう、勉強会やミーティングで徹底化を図っています。また、広報で使用する写真なども改めて検討を加えることとしています。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者優先の暮らしができるよう心掛けて実践しています。生活歴などあらゆる情報をもとに、その人らしい暮らしができるよう希望に沿った支援をしています。 | | |

| 外部 評価 | 自己 評価 | 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期 待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|----------|---|--|--------------------------|-----------------------------------|
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の能力や状況に合わせて、ゆったりと食事が行なわれています。スタッフも一緒に食事をしながら細やかな気配りと支援が行なわれております。下膳や食器洗いもできることは自ら行なってもらなどしています。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の希望を取り入れた入浴を楽しんでもらっています。夜間の入浴も可能ではありますが、夜間は不穏防止の観点により現在は夕刻までの入浴としています。 | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 昨年は利用者の希望もあり、温泉一泊旅行に出掛けスタッフのご苦勞もありましたが大変喜ばれました。また、利用者同士の語らい、菜園作業、フラダンス、調理の手伝い、雑巾縫いなど様々な楽しみごと、気晴らしがスタッフの支援のもと、行なわれています。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 一人でぶらりと出掛けたい、皆で出掛けたいなど外出の違いはありますが、スタッフが付き添うなど利用者の希望に添った支援がされています。また、家族とともに散歩をする利用者もいます。ドライブで少し遠方にも出掛けており利用者の楽しみともなっています。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 玄関及びパブリックホールへの施錠はしていません。ユニットからパブリックホールへは2つのドアがあり、スタッフは日中の気配りで鍵を掛けることのない暮らしを支援しています。夜間のみ午後9時頃から翌朝6時30分までは防犯上施錠をしています。 | | |

伊達市 グループホーム コスモス

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|--|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 色々な災害を想定しての訓練が行なわれています。消防署の協力を得てAEDの実施訓練や指導、またホームには備水設備もあるなど万全を期していますが、人手が少ない夜間を想定した避難訓練、地域に人たちの協力を得ての避難訓練などはいまだ行なわれず不安が残ります。 | ○ | 利用者の安全確保では、夜間の対応が一番問題となります。限られたスタッフでの夜間を想定した避難訓練は必要ですし、近隣の住民の協力も不可欠となります。また、避難場所の周知などあらゆる想定での取り組みを期待します。 |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 味付け、盛り付けも上手で、利用者の食欲を増す食事が提供されています。利用者によっては刻み食、ミキサー食にしていますが、風味を損ねない工夫がされており、食を通じた健康への支援が行なわれています。水分の摂取量も利用者の体調に合わせて確保されています。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 両ユニットを結ぶ広いパブリックホールは、上手に採光が施され、利用者の憩いの場となっています。外の風景も一望することができ、季節の野鳥を眺めることができます。トイレ、浴室もタイル模様であشらい清潔感に満ちています。利用者の作品が飾られている食堂も居心地の良い雰囲気があります。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者が持ち込んだ衣装箱や調度品は、大きな収納庫に収まるため、居室が広々としており、利用者はゆったりと、安心の暮らしが営まれています。冬季間の湿度管理には、濡れタオルも利用するなどして風邪予防にも配慮しています。 | | |

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。